

2015年
ハイライト

02

ハブラシリサイクル プログラムの推進



当社は2015年5月より、テラサイクルジャパン合同会社（以下、テラサイクル社）と提携し、使用済みハブラシを回収してリサイクルするプログラム「ハブラシリゲード」をアジアではじめて開始しました。

※ブリゲードとは連隊、旅団サイズの軍隊を指し、ひとつの目的を共有し、団結して事を成すという意味。

プログラムの狙い

ハブラシは、子どもから大人まで、すべての生活者にとっての生活必需品であり、年間で約4.5億本*1が消費されています。しかし、今までは使用済みのハブラシは、埋め立て地に送られたり、焼却されたりしており、資源として活用する場がありませんでした。

当社は、オーラルケアのリーディングカンパニーとして長きに

わたり、生活者の歯と口の健康増進を応援してきました。同時に、「環境対応先進企業の実現」を経営目標のひとつに掲げ、ものづくりの場や事業活動において環境負荷低減に取り組んでいます。これらの考えのもと、下記の狙いを定め、テラサイクル社と共同で、日本国内でプログラムを推進しています。

狙い 1 身近なリサイクル活動の場としての貢献

大人から子どもまで生活者が自ら取り組めるリサイクル活動の場を提供し、地域・社会の環境負荷低減活動の活性化に貢献する。

狙い 2 お口の健康管理への貢献

ハブラシの適切な交換サイクル(1カ月に1回)での交換を推奨し、生活者の歯と口の健康保持・増進をはかる。

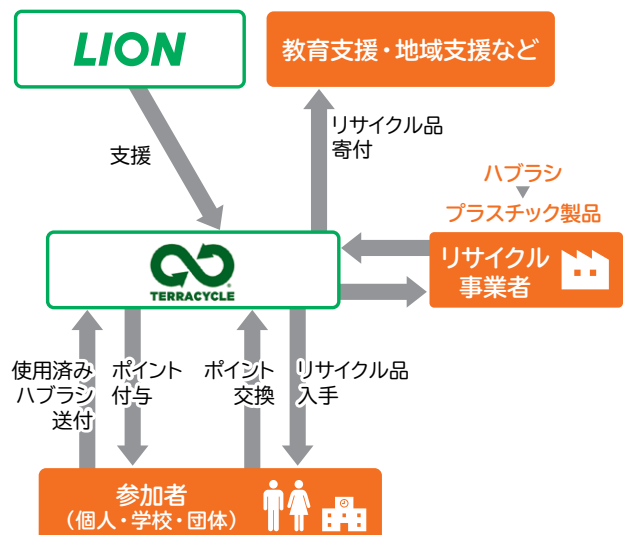
*1 国内生産本数、全日本ブラシ工業協同組合 調べ

プログラムの内容

プログラム参加希望者は、個人・学校・団体などの単位で事前に参加登録し、使用済みのハブラシを集めます。学校や施設であれば、回収ボックスなどを設置し、多くの方からの収集が可能となります。集めた使用済みハブラシは指定運送業者が集荷し、参加者には集めた重量に応じてポイントが付与されます。そのポイント数に応じて、ハブラシをリサイクルして作られたプラスチック製品（植木鉢など）との交換や教育支援・地域支援などの寄付に換えることができます。



再生品の植木鉢



2015年の活動実績

2015年は、公民館、学校、児童館、販売店など合計115*2もの回収拠点が立ち上がりました。人々のリサイクル意識および口腔保健意識の向上を目指し、今後もプログラムを推進します。

*2 2015年12月15日時点

児童館での設置



フレンドリープラザ墨田児童会館



さくら橋コミュニティセンター

販売店での設置



ドラッグストア クリエイトエス・ディー藤沢栢店



ドラッグストア クリエイトエス・ディー新鴨志田店

Voice プログラム担当者の声 事業開発部 横山 準

私は、このプログラムの活動内容を企画し、テラサイクル社のメンバーと協力して活動を推進しています。初年度である2015年は、この活動の認知拡大に向けて記者発表会や、ポスターコンクールなどのPRイベントを行いました。また、ライオンの本社所在地である東京都墨田区では、中学校や児童館などに直接出向き、回収活動への参画を呼びかけて、地域での活動促進にも取り組みました。

ハブラシは子どもから大人まで使う生活道具であることから、「身近で誰にでも取り組みやすい活動ですね」との声をいただくことができました。特に学校関係の皆様からは、「生徒自身が主体的に取り組むことができ、環境教育と健康教育につながっている」とおうかがいして、とてもうれしく思っています。また、「この活動をきっかけにハブラシの定期的な交換を意識するようになりました」との反響もいただいております。

これからも、ハブラシのリサイクルという新しい切り口で、生活者の皆様の環境意識向上と歯と口の健康づくりに貢献できるよう、取り組んでいきます。

